

「電力卸売価格変動保険」の販売開始

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬 伸一、以下「東京海上日動」)は、小売電気事業者が電力卸売市場から調達した電力価格が、猛暑または厳冬等の厳気象に起因して高騰したことによって被る損害について補償する「電力卸売価格変動保険」の販売を開始いたします。

1. 背景

世界的な脱炭素に向けた動きが加速し、幅広い産業や地域における電力需要家の再生可能エネルギー由来の電力に対するニーズが高まっています。こうした環境下、小売電気事業者は、再生可能エネルギー由来の電力調達比率を高める一方で、悪天候等により再生可能エネルギー由来の電力調達量が低下した場合には、電力卸売市場(JEPX)から代替電力を調達する必要性が生じますが、その際に、市場取引による価格変動リスクを負うこととなります。電力卸売市場の価格変動が小売電気事業者の経営に与えるインパクトは大きく、厳気象等により想定外の価格高騰が発生した際の小売電気事業者の破綻、事業撤退等が社会課題となっています。

このような中、東京海上日動は、小売電気事業者の事業安定化を支援し、再生可能エネルギーの普及を促進することにより、脱炭素社会への移行に貢献していくことを目指し、本商品を開発いたしました。

2. 電力卸売価格変動保険の概要

(1) 補償内容

以下の事由が発生したことにより、小売電気事業者が電力卸売市場から電力を調達するために追加で支出した費用を補償します。具体的な補償内容は、オーダーメイドで設計いたします。

- ① 天候が、予め設定した厳気象条件(猛暑または厳冬等)に該当したこと。
- ② 小売電気事業者が電力卸売市場から調達した電力の価格が通常想定される範囲を超えて高騰し、予め設定した水準を超えたこと。

(2) 本保険の特徴

従来は、電力卸売価格の変動リスクを補償する保険商品をご提供することは困難でしたが、当社では、以下の取組みにより本保険を開発いたしました。

- ① 外部データの解析(Powered by 「dRIVEN」※)

本保険は、データ・テクノロジーの活用を通じて新たな価値をご提供し、様々なリスクからお客様・地域社会をお守りする保険商品である「dRIVEN」シリーズとして展開するものです。

当社は、東京海上グループのデータ中核機能を担う「東京海上ディーアール株式会社」と連携し、電力卸売価格および天候等のデータ解析を行い、本保険の商品開発に活用しています。

(※)2021年11月25日 データドリブン商品「dRIVEN」シリーズの展開

～新たな価値創出に向けた商品の開発～

https://www.tokiomarinehd.com/release_topics/release/l6guv300000dnu9-att/20211125_dRIVEN_j.pdf

② 再保険の活用

Energy Risk Asia Awards 2021 を受賞するなど電力価格の変動リスクおよび天候リスクの引受けに強みを持つ Munich Reinsurance Company グループの New Reinsurance Company (NewRe) と連携し、当社は、本保険の引受枠組構築に取り組んでまいりました。天候により影響を受ける電力価格の変動リスクについては国内にリスクが集積するため保険引受け上の難しさがありますが、NewRe 社との連携により、日本の電力卸売価格の変動リスクを国際分散させることが可能となり、より小売電気事業者のニーズにお応えできるような補償を持続的に提供することが可能となりました。

3. 今後の取組み

当社は、本商品の提供を通じて得られた知見を活かして保険の開発を進め、電力市場において、小売電気事業者のみならず様々なステークホルダーが抱えるリスクを補償することにより、電力市場の安定的な発展を支援し、カーボンニュートラルの実現・脱炭素社会への移行に向けて貢献してまいります。

以上